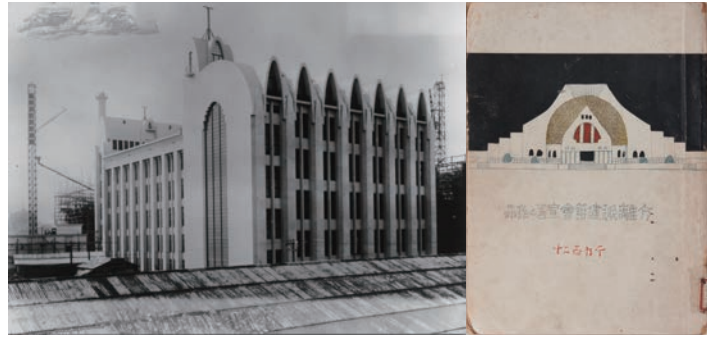


3階 企画展示室【開催中】

分離派建築会 100年 建築は芸術か？

大正時代、日本の建築界に鮮烈なインパクトをもって現れた新星たちがいました。日本で最初の建築運動とされる分離派建築会です。大正9（1920）年、東京帝国大学建築学科の卒業をひかえた同期、石本喜久治、瀧澤眞弓、堀口捨己、森田慶一、矢田茂、山田守によって結成され、その後、大内秀一郎、蔵田周忠、山口文象が加わり、昭和3（1928）年まで作品展と出版活動を展開しました。

2020年で結成から100年。本展は、図面、模型、写真、映像、さらには関連する美術作品によって、変革の時代を鮮やかに駆け抜けた彼らの軌跡を振り返ります。分離派建築会が希求した建築の芸術とは何か。日本近代建築の歩みのなかで果たした彼らの役割を、新たな光のもとに明らかにしていきます。



(左) 山田守「東京中央電信局竣工」1925（大正14）年、写真提供：郵政博物館
(右)「分離派建築会 宣言と作品」（岩波書店）、1920年、撮影協力：東京都市大学図書館

会期：開催中～ 3月7日（日）まで

おうちでもお楽しみいただけます

●シンポジウム：分離派建築会 — モダニズム建築への道程

YouTubeにてご覧いただけます（実施日：1月9日）

登壇者：田路貴浩（京都大学教授）、足立裕司（神戸大学名誉教授）、加藤耕一（東京大学教授）、梅宮弘光（神戸大学教授）

●講演会：「ことば」をもった大正時代の建築家たち

YouTubeにてご覧いただけます（実施日：1月16日）

講師：本橋仁（当館特定研究員）

●マンガで見る！分離派建築会の実録エピソード

分離派建築会会員の出会いとエピソードをマンガでご紹介！PDF版を当館HPでお読みいただけます。

各コンテンツへのリンクはこちらから→



ONLINE!



3階 次回の企画展【予告】

ピピロッチェ・リスト：Your Eye Is My Island —あなたの眼はわたしの島—

スイスを拠点に国際的に活躍する現代アーティスト、ピピロッチェ・リスト（1962-）の回顧展を開催します。五感を刺激する心地よい音楽と、鮮やかに彩られた世界をユーモアたっぷりに切り取った映像によるビデオ・インスタレーションは、国を越えて幅広い世代の観客を魅了してきました。

本展は、身体、女性、自然、エコロジーをテーマとした作品およそ40点で構成。身体や女性としてのアイデンティティをテーマとする初期の短編ビデオやヴェニス・ビエンナーレに出品された代表作、自然と人間との共生をのびやかに謳う、最新の映像技術を駆使した近年の大規模な映像インスタレーション、美術館の所蔵作品を取り込んだ新作、廃材を活用した屋外作品まで、約30年間の活動の全体像を本格的に紹介します。ベッドでくつろぐ、食卓を囲むといった遊び心あふれる没入型の映像体験を通して、コロナ禍における鑑賞者と美術館の関係を再構築するとともに、現代社会における切実なテーマを鑑賞者の身体とともに少しずつ解きほぐす機会となるでしょう。

会期：4月6日（火）～ 6月13日（日）まで

※友の会特別解説会については、次号（no.76）でご案内いたします。

お知らせ

3月8日～22日は全館休館します

館内施設整備のため、3月8日（月）～22日（月）は全館休館いたします。ご不便おかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。



(4階から穏やかさへ向かって) 2016年ルイジアナ近代美術館での展示風景
(Photo by Paul Buchard Brendum & Co.)

友の会

Feb. 2021

お知らせ

2021 年度の展覧会スケジュール

モダンクラフトクロニクル—京都国立近代美術館コレクションより—

7月2日(金)～8月22日(日)

当館は1963年の開館以来、国内有数の工芸コレクションを形成し、さらに折に触れて日本との比較の中で海外の工芸表現を紹介し、日本の美術・工芸界に大きな刺激を与えてきました。本展では、当館の工芸コレクションを用いて、これまでの当館の展覧会活動の一端を振り返るとともに、近代工芸の展開をご紹介します。

発見された日本の風景 外から見る／外へ見せる

9月7日(火)～10月31日(日)

幕末から明治にかけて大勢の外国人画家たちが日本を訪れ、日本の風景や風俗を描き故郷への土産にしました。日本人画家たちはその影響を受け、その画技を学びながら、外国人に見せたい日本の風景や風俗を描いてはそれを外国人に土産として販売し、あるいは留学先で販売して資金にしました。こうして明治の日本を表現した油彩画や水彩画は永らく海外で愛好されてきました。本展では、そのような作品を海外で収集し、帰国させた明治絵画コレクションをご紹介します。

上野リチ：ウィーンからきたデザイン・ファンタジー

11月16日(火)～2022年1月16日(日)

ウィーンと京都で活躍したデザイナー、上野リチ・リックス(1893-1967)の世界初の回顧展を開催します。当館の所蔵作品に加え、国内外の機関からリチそして関連作家の作品を招来し、色彩豊かな魅力あふれるリチのデザイン世界の全貌をご紹介します。

※今後の新型コロナウイルス感染症に関する状況を踏まえ、会期を延長・変更する可能性があります。



(上) ピーター・ヴォーコス《陶彫》1963年、
(下) 釜木治郎吉《提灯屋の店先》1890-1912年頃

コレクション展

2020 年度 第4回コレクション展

今回のコレクション展では、近年ますます国際的な評価が高まっている三島喜美代の特集展示や、分離派展に関連して「建物」が描かれた日本画作品、また、石黒宗麿《壺「晩秋」》を視覚によらない方法で味わう「ツボ_ノ_ナカ_ハ_ナンダロナ?」などをご覧いただけます。

会期：開催中～3月7日(日)まで

次回「2021 年度 第1回コレクション展」は、3月23日からです。

展示テーマ

- 特集：三島喜美代
- 西洋近代美術作品選
- 描かれた建物
- 中村裕太 ツボ_ノ_ナカ_ハ_ナンダロナ?
- 北大路魯山人、八木一夫、清水卯一
—石黒宗麿とのつながりの中で—
- モダニズムの日本工芸
- 十亀広太郎と関西の「色彩派」

お知らせ

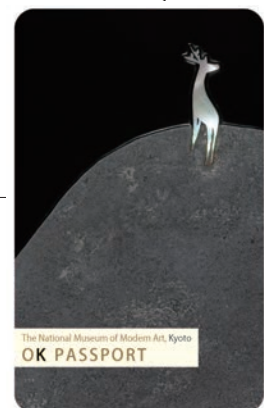
「OK パスポート」、4 月より販売開始！

当館では2021年4月より、新たな2種類の年間パスポート「OK ミュージアムパスポート」と「OK コレクションパスポート」の販売を開始いたします。

関西の2つの国立美術館…国立国際美術館(Osaka)／京都国立近代美術館(Kyoto)ファンのみならずにもっと美術館に親しんでいただける年間パスポートになっています。

Osaka／Kyotoの国立美術館で開催される展覧会を、心ゆくまでお楽しみください！

当館ミュージアムショップにて販売いたします！



OK ミュージアムパスポート

5,000 円(税込)

- ・京都国立近代美術館と国立国際美術館の各企画展を1回、無料でご覧いただけます。(2回目以降は団体料金)
- ・すべての国立美術館のコレクション展を何度でも無料でご覧いただけます。

OK コレクションパスポート

1,500 円(税込)

- ・京都国立近代美術館と国立国際美術館のコレクション展を何度でも無料でご覧いただけます。

※友の会(一般・学生)は、2021年3月31日をもって入会及び更新申し込みの受付を終了いたします。

京都国立近代美術館賛助会員(当館は以下の賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。)

<特別会員>

木下グループ

FUJIFILM

<一般会員>

ワコール

京都中央信用金庫